

北信がんプロ金沢医科大学Web市民公開講座 2020(2021/2/12～公開)

第Ⅰ部がんゲノム医療

第Ⅱ部日本のがん医療の近未来

文部科学省 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランー超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成ー（本学コーディネーター：元雄良治教授）の最終年度前年である令和2年度、新型コロナウイルスの影響もあり本学担当の市民公開講座はWeb配信という初めての試みで行われた。がんゲノム医療から在宅でのがん医療まで「日本がん医療の近未来」をテーマに講演会を収録した。元雄良治教授の挨拶に続き、第Ⅰ部 基調講演では安本和生教授から「がん遺伝子パネル検査って何だろう」、新井田要教授から「がん遺伝子：家族性腫瘍症候群への対応」があり、がんゲノム医療の今後について基調講演での疑問に答えるディスカッションが行われた。第Ⅱ部では、本学の客員教授である早稲田大学理工学術院 宮田俊男教授が本テーマである「日本がん医療の近未来」について特別講演を行った。予防のポイントから検診の重要性、がん情報の見極められる力にも、かかりつけ医とのコミュニケーション、そしてセルフメディケーション、セルフケアという意識の共有が大切ということが示された。また、コロナの時代で進んだオンライン診療についても提示された。

講演後、元雄良治教授、高村博之教授、下平滋隆教授とともに、がん医療の今後についてパネルディスカッションを行った。この講演は高村博之教授からの挨拶で閉会した。聴講市民の利便性を考慮し、Webでは字幕表示が選択でき、市民や医療者の考えるヒントになった内容である。

(再生医療学 下平滋隆記)